

シリーズ
14
高橋

家族ぐるみで交流

今月の「おじゃまします」地域情報ネットワークは、春まつ盛り、この季節、楽しい行楽シーズンですが、農家の人たちにとってはネコの手も借りたい忙しい季節。そんな中、春作業のあい間をみて今回は高橋地区におじゃまさせてもらいました。

高橋地区といえば、和納地区でも一番東側に位置する集落で、巻町の下和納地区、桜林地区とは町村界が接している地区です。世帯数は三十一戸とそんなに大きな集落ではありませんが、昔から地区内のまとまりと協調性の良さでは村内屈指の集落としても知られているところ。



毎年楽しいカラオケ大会が行われる高橋神社

ここ高橋地区は、みなさんもご存じのとおり古くから農業を基盤としてきた集落ですが、もともと地区内の耕地面積は他地区と比べるとそんなに広くはなく、ほとんどが中規模農家であり、兼業化傾向が早かった集落でもあります。そんな家庭環境（兼業）が同じというせいもありますが、ここ高橋地区では人と人との付き合いやまとまりなんかはともいえない地区だといわれています。

その表われの一つというべきグループ旅行。これは地区内の人たちが年齢ごとのグループに分かれ旅行しているもので、もう二十年くらい前から続いている親睦旅行です。

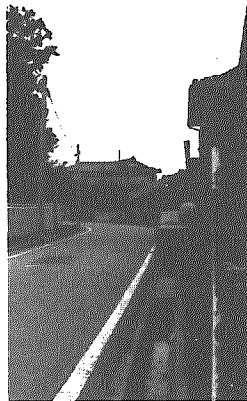
「うちの地区の人たちは、ほんとうにみなさん仲よく付き合っています。その一つのグループ旅行。これはもう二十年くらい前から続いているものです。最初は、農作業が終わったあとの慰安と親睦をかねて、お父さんたちだけでやっていたんですが、今ではお母さんたちも同伴していくようになり楽しくやっています。それに近ごろは、地区内の若い世代の人たちもやるようになり、いくつもの旅行グループができてきました」と地区内の楽しい親睦旅行について話す芹沢区長さん。

ところで、ここ高橋地区というと、一見、静かな農村集落という印象がありますが、どこい地区内行事なども盛んに行われ、躍動感にあふれる地区でもあります。「高橋というところは、戸数も三十一戸と小さい集落というせいもありますが、何かまとまってやろうというときなど、地区中で協力、



高橋区長 芹沢 一郎さん (57歳)

応援してくれます。本当にこのまとまりというか協調性については自慢できる一つです。毎年、お盆に野球部が中心となりカラオケ大会をやっているんですが、この時なんかは、各家から一人ずつ歌い手をだしてもらったりして、どの家も家族総出で応援にやってきました。ですから、神社境内は一晚中、地区の人たちのにぎやかな歓声で大騒ぎです。この日は「ばかりは、ふだん物静かな高橋の人たちも大騒ぎですよ」とうれしそうに話す区長さん。このほかにも、高橋地区では集落ぐるみの元旦マラソンや新年会など楽しい催しもいっぱい



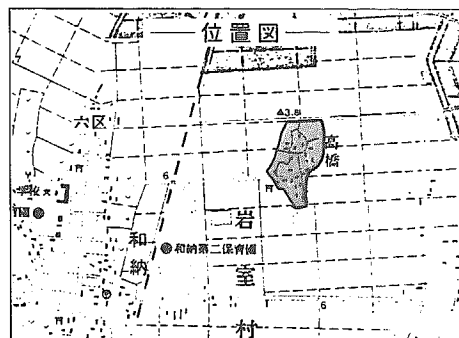
地区の真中を走りぬける村道

いです。それにつられるように、子供たちの活動も年々盛んになってきているといえます。その中でも、地区の人たちから一番喜ばれているのが、子供会や地区内清掃。これは、子供たちが自分たちの手で地区内をきれいにしようとして始めたもので、毎年、空き缶拾いや草のりのボランティアが行われています。このようにいろんな地区内交流がある高橋地区。けっして派手ではありませんが、その一つひとつから、心温まる地域性を感じられる高橋地区でした。

高橋ミニデータ (人口と世帯)

人口	168人
男	83人
女	85人
世帯数	31世帯

(平成元年4月1日現在)



編集後記

■すがすがしい季節となりました。この季節、仕事なんかやめて外へ飛び出して行きたくなります。でも、そうもいかないところがつらいことですね。ところで、広報いわむろでは、皆さんからの情報をお待ちしています。こんな人はどうですか、こんな行事がありますよ、などなどなことも結構です。どんどんご連絡ください。広報いわむろは皆さんの広報です。ぜひ、見るだけでなくご利用ください。